

順天堂医院 ニュース 2004

NO.9



平成 16 年度を迎えて ～新臨床研修医制度スタート～

院長 宮野 武

昨年度は当院にとって、5月に入院診療費包括化の導入、9月に病院機能評価受審と大きな試練がありました。しかし、これらを多くの患者さま各位のご理解、ご協力と順天堂医院の全教職員挙げての結束と努力で無事乗り切ることが出来ました。院長として皆さま方に心から感謝申し上げる次第です。（後者の認定証は、医院正面玄関ロビーに掲額してあります。）

さて、平成 16 年度は医療制度上の大改革と云える新臨床研修医制度が5月にスタートいたしました。順天堂医院においても良医を育成するため重要な制度でありますので、皆さま方の深いご理解をお願い申し上げます。

本年度も当院として何より医療安全を第一に、最高の医療サービスを提供させて頂くべく最善を尽す所存です。

なお、本年度は次頁の梁井 皎・富野康日己の両副院長及び木下勝之院長補佐の3名をスタッフとした体制で諸問題に取り組みます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。





副院長 梁井 皎 (形成外科教授)

順天堂医院は、患者さまの立場に立った医療と良質な医療の提供を大きな使命としております。そのためには、医師の確実迅速な診断治療は勿論のことですが、医療における高度の専門性、患者さま中心の「チーム医療」が大切だと考えております。これは院内の診療

科間、診療科と他職種間との連携は元より、外来患者さまの診療については、ご紹介いただく各種医療施設（病院、診療所など）との連携も含まれております。つきましては、他医療施設からご紹介されて外来初診をされる際には、今までの治療経過内容などの診療情報を紹介施設からいただいております。また、診療面・看護面・事務手続きの面などに関して何か不都合な点にお気付きの際には、「患者さまご紹介コーナー」にご連絡いただくと幸いです。



副院長 富野 康日己 (腎・高血圧内科教授)

順天堂の医という字の古い文字には、癒すという意味があり、順天堂医院は患者さまの身体のみならず心を癒す苑だといわれています。私たちは、患者さまと家族の皆さまが「当院で診療を受けてよかった、心が癒された」と思っただけのような「心温まる医療」を念頭に勤務しています。患者さまにおかれましては、

どのような些細なことでも私たち医療スタッフにご相談いただき、一日も早く健康を取り戻されますよう、心から願っています。



院長補佐 木下 勝之 (産科・婦人科教授)

私どもの大学病院は、集中する難病、重症症例に対し高度先進医療を駆使して、診断治療に当たる一方、地域の基幹病院として、地域の病院や、診療所から手術が必要な患者さまや、難しい症例を全てお引き受けしています。しかし、皆さまに知っていただきたいことは、この病院の診療の基本は、高度な医療であっても、

日常診療であっても、安全で確実な医療の提供と、サービスを基本において、患者さまが安心して、満足していただけることを常に考えていることです。

私ども補佐役は、変革期にある医療制度や、地域医療の実態、そして、大学病院の全体像を俯瞰しながら、解決すべき問題に対して、患者さまのために、そして、病院のために、何が出来るかを考え、具体的な改善策を作成し、実行したいと考えています。

看護部便り



初代看護婦長
杉本かね

順天堂の看護には長い歴史があります。日本で初めて専門職としての看護婦長は、1873年に順天堂医院で誕生しました。看護婦養成は1893年から始まりました。それから111年間、順天堂の看護教育は続いています。今日まで5回の改組、名称変更が行われ、2004年4月順天堂大学医療看護学部（4年制）の開設となりました。



看護部長
櫻井 美鈴

ナースキャップ
つけていない人も
増えてきました。

いつも笑顔をかかっています。

看護師総数：970名（女性：948名、男性：22名）
平均年齢： 26.7歳

私達は、患者さまの安全を第一に、一日も早く健康をとりもどして頂けますように、いつでも患者さまのそばにいる存在でありたいと考えています。

どうぞ、ご心配なことや分からないことがありましたら、いつでもお声をかけてください。



顔写真入りの
ネームプレート

ユニフォームは
ワンピース型と
パンツロン型の
2つがあります。

薬剤部より



院内調剤の待ち時間表示について

3月末より待ち時間表示を開始しました。医師の処方から薬をお渡しするまでの予想待ち時間です。散剤や一包化（服用一回分ごとに薬をまとめること）は時間をかかりますがご了承ください。院外処方箋も発行できます。外来受診時に担当医にお申し付けください。

多剤投与について

薬剤の種類が5種類を超えると、予想しにくい薬同士の作用がおこることがあります。順天堂医院では最小の薬剤で最大の薬効を得ることを推奨しております。皆さまのご理解をお願いいたします。

お薬相談窓口について

外来薬局カウンターに「お薬相談」窓口を設け、薬に関するご相談にしております。



前立腺癌の新しい治療法(組織内照射・小線源療法)について

この方法は、放射線を出す小さなカプセルを、前立腺内に直接埋め込む方法です。

1回の施術(2時間程度)で治療が終了します。外から放射線をかける場合と比べて直腸障害や勃起障害などの副作用を少なくできる特徴があります。欧米で主流であるヨード(1-125)永久刺入法が、平成15年秋に法律が改正され、日本でも施行可能になりました。当院でも近々、治療を開始する予定で、現在待機者登録中です。

詳しくは、泌尿器科外来で医師にお尋ねください。



泌尿器科教授
藤目 真



泌尿器科
和久本 芳彰

ED(勃起障害)外来について

日本の疫学調査では、中等度から重度のED患者さまが1130万人いると言われています。しかし大部分の方は医療機関を受診せず、お一人で悩んでいらっしゃると思われます。このたび、日本性機能学会員の白井雅人を配し、新たにED外来を完全予約制で、毎週土曜日(第2土曜日を除く)午前中に泌尿器科外来に併設いたしました。どうぞお気軽にご相談ください。初回の方は、ED外来予約と検査(心電図、レントゲン、採血)と問診票をお渡ししますので、泌尿器科外来(予約不要)にお越しください。また、現在内服されている薬がございましたら、ご持参ください。



泌尿器科
白井 雅人

生殖補助医療（ART）外来

体外受精や顕微授精などの新しい不妊治療に用いられる技術をART (Assisted Reproductive Technology：生殖補助医療)と言います。当院産婦人科では、年間約500例の人工授精、約200例の体外受精（顕微授精を含む）と凍結受精卵などの不妊治療を行っております。板垣和子は、精子や卵子などの配偶子や受精卵を操作する専門の資格を持った検査技師で、1998年から当院産婦人科における不妊治療に携わっています。

ART 外来は毎週月曜日と木曜日の午前中予約制です。主に、体外受精を行う患者さまを対象に、板垣技師が治療の内容やスケジュール、副作用、コストにいたるまで十分な時間をとって説明いたします。



産科・婦人科助教授
武内 裕之



検査技師
板垣 和子

関節リウマチでお悩みの方に朗報！

～新しい治療法：白血球除去療法～

平成16年4月より関節リウマチに対する新しい治療法である白血球除去療法が認められました。この治療法は血漿交換療法の1つで、関節の炎症に関係する白血球を血液中から除去する方法です。この治療方法が加わることで、関節リウマチの治療の幅が広がりました。通常、治療は外来で週1回程度で5回まで行うことができます。これまでの治療成績では6～7割の方に効果が認められ、副作用もほとんど認められていません。

詳しい事は、膠原病・リウマチ内科の担当医にお聞きください。



膠原病・リウマチ内科教授
橋本 博史



血漿交換療法室室長
津田 裕士

入院患者さまに癒しの音楽を



このプロジェクトは、一人の患者さまのご意見から始まりました。その経緯は、その患者さまが生きる気力を失っている時、年 1 回開催していた小児の病棟主催による“チャイルドパーティ”を見て感動し、希望がもてたという体験を職員に話してくださいました。そこで、患者さまに何か癒しになるものを企画したいと各部署からボランティアメンバーが集まり、平成 15 年 5 月から毎月 1 回（第 2 土曜日の午後）1 号館 1 階アトリウムにて音楽会を開催しています。現在は 36 名が企画・運営を行っています。

毎回、アトリウムには 350～400 人（内、車イス 60 台・ストレッチャー・ベッド 3～4 台）の患者さまが参加してください。プロジェクトメンバーとしては、うれしくも気が引き締まる思いで取り組んでいます。

このプロジェクトはまだまだ始まったばかりで、至らない点多々あると思いますが患者さまやご家族からのご意見をいただきながら、患者さまに心より満足していただけるような催し物を提供していきたいと考えています。

リーダー：1 号館 1 4 階病棟 師長 高橋 季子

開催日	催し物	開催日	催し物	開催日	催し物
4/10	フラメンコ舞踊	7/10	ハーブコンサート	10/9	チャイルドパーティ
	クラシックギター				
5/8	パーカッション	8/14	フラダンス舞踊	11/13	オーケストラ
			コーラス		
6/12	いろんな楽器の演奏会	9/11	バイオリンコンサート	H17 年 3/12	オカリナ演奏会
					コーラス

平成 16 年度癒しのプロジェクト年間計画



デイ サージャリーセンター開設 (日帰り手術)

平成 16 年 4 月より、1 号館 5 階にデイサージャリーセンター（日帰り手術）がオープンしました。ここでは局所麻酔による簡単な手術から、今まで入院しなければできなかったような全身麻酔による検査や手術まで、その内容や患者さまの状態によって日帰りで行うことができるようになりました。詳しくは各科の外来で担当医にお尋ねください。



開設準備委員長 児島 邦明
(乳腺・一般外科助教授)



順天堂写真クラブ

当院がモットーとする、温かい癒しの雰囲気具备了たアメニティーの向上のために、院内の壁面等の空間を利用し、院内各所に写真展示コーナーを設けております。

写真は、各職場から写真の愛好家（会員）が休日を利用して、日本の美しい自然、四季折々の花や風景が患者さまの心が、ひとときでも和むような作品を展示しております。

因みに、現在サロン風な廊下に掲出されている写真の多くは、院長が多忙の合間に折々撮影されたものです。趣旨に共感される方は、ご参加をお待ちしております。

リーダー 健康スポーツ室 山岡 喜保
フォトセンター 清水 和敏



アメニティ活動としての‘ペイント・イン’

病院アメニティ（快適な生活環境）の向上を目的として、1号館では地下の放射線部、小児科外来および産科病棟、2号館では地下1階放射線部、救急外来、内視鏡室、人工腎臓室、リハビリテーション室および小児病棟などに、観る人の心があたたかくなるような癒しの絵を描いてきました。

実際には専門家の方に下絵を描いていただき、患者さまやそのご家族および病院職員で色を塗って仕上げます。第4回ペイント・インを6月27日（日）に行いますので、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

アメニティ向上小委員会 清水俊明
(小児科・思春期科助教授)



<2号館2階 放射線部>



<2号館1階でのペイント・イン風景>



<1号館地下1階 放射線部>

順天堂大学医学部附属順天堂医院
〒113-8431 文京区本郷3-1-3
TEL: 03-3813-3111 (大代表)

ホームページ:

<http://www.tokeidai.co.jp/juntendo/>



構成: 平野 澄江(管理課)

(平成16年5月作成)